

---

## プログラム

---

### 海外招待講演

8月23日(土) 17:00~17:50 大ホール

座長：菊池 良和 (九州大学病院 耳鼻咽喉・頭頸部外科)

#### SL Challenges in Pharmacological Treatment of Stuttering.

(吃音の薬物療法の試み)

Gerald A Maguire (医師、米国精神医学会特別上級フェロー)

### 教育講演 1

8月23日(土) 14:30~14:55 大ホール

座長：仲野 里香 (ことばの相談 nakano)

#### EL1 ADHD の子どもが忘れ物をせず宿題ができるようになる認知行動療法

中島 美鈴 (中島心理相談所、九州大学)

### 教育講演 2

8月23日(土) 15:00~15:25 大ホール

座長：野田 哲平 (九州大学病院 耳鼻咽喉・頭頸部外科)

#### EL2 コミュニケーションの二重障害 —LiD/APD と吃音の併存から考える

阪本 浩一 (大阪公立大学大学院 聴覚言語情報機能病態学、  
医誠会 国際総合病院 イヤーセンター)

### 教育講演 3

8月24日(日) 11:30~12:00 大ホール

座長：菊池 良和 (九州大学病院 耳鼻咽喉・頭頸部外科)

#### EL3 神経発達症(発達障害)のある子どもを育てる母親の養育レジリエンスを高めるには？

山下 裕史朗 (高邦福祉会柳川療育センター、久留米大学高次脳疾患研究所)

## 市民公開講座

8月24日(日) 15:30~16:00 大ホール

座長：菊池 良和 (九州大学病院 耳鼻咽喉・頭頸部外科)

### CL バスケットボール × 吃音体験 = 今の私

加藤 寿一 (ライジングゼファーフクオカ所属 プロバスケットボール選手)

## 大会長講演

8月23日(土) 16:30~16:55 大ホール

座長：長澤 泰子 (NPO 法人こどもの発達療育研究所)

### PL 吃音外来を科学する

菊池 良和 (九州大学病院 耳鼻咽喉・頭頸部外科)

## 学会企画 1

8月23日(土) 9:30~10:20 大ホール

座長：長澤 泰子 (NPO 法人こどもの発達療育研究所)

### AP1 「吃音臨床の手引き」改訂版の紹介

堅田 利明 (関西外国語大学)

餅田 亜希子 (東御市民病院リハビリテーション科)

## 学会企画 2

【要申込】 8月24日(日) 9:00~12:15

### 「吃音臨床の手引き」を用いた吃音臨床研修

企画／統括・ファシリテーター：堅田 利明 (関西外国語大学)

AP2-1 幼児期 …… 中ホール 3

AP2-2 学童期 …… 会議室 1

AP2-3 思春期 …… 会議室 2

## シンポジウム 1

8月23日(土) 10:30~11:50 大ホール

### 大学での吃音の合理的配慮を考える

座長：小林 宏明 (金沢大学 人間社会研究域学校教育系)

吉田 恵理子 (長崎県立大学 看護栄養学部看護学科)

#### SY1-1 大学における吃音症に対する合理的配慮の実態調査

山口 優実 (九州大学病院 耳鼻咽喉・頭頸部外科)

#### SY1-2 言語聴覚士養成校における吃音への合理的配慮の実際

安井 美鈴 (大阪人間科学大学 保健医療学部言語聴覚学科)

#### SY1-3 看護大学における合理的配慮の実際

矢野 亜紀子 (大分県立看護科学大学広域看護学講座 看護管理学)

#### SY1-4 吃音外来を担当する医師としての合理的配慮申請の実際

阪本 浩一 (大阪公立大学大学院 聴覚言語情報機能病態学、  
医誠会 国際総合病院 イヤーセンター)

## シンポジウム 2

8月23日(土) 15:30~16:25 大ホール

### 医師・歯科医師の立場からの就職活動支援

座長：金光 聖隆 (兵庫県立丹波医療センター、おおさか結言友会)

宮崎 聡 (市立福知山市民病院大江分院)

#### SY2-1 どーもわーくの活動を振り返って

竹内 俊充 (特定非営利活動法人 どーもわーく)

#### SY2-2 内科医の立場からの就職支援

～意見書と診断書を用いた離職予防支援～

岡部 健一 (旭川荘南愛媛病院、愛媛言友会)

#### SY2-3 耳鼻咽喉科の立場から ～障害者手帳を中心に～

富里 周太 (慶應義塾大学医学部耳鼻咽喉科頭頸部外科学教室、  
全国言友会連絡協議会、よこはま言友会)

## シンポジウム 3

8月24日(日) 9:00~10:20 大ホール

### 病院以外での吃音支援

座長：久保 健彦 (久保ことばの教室)

矢田 康人 (合同会社 Word Pecker)

#### SY3-1 自費の教室で行う「ことばレッスン」という名の吃音臨床

仲野 里香 (ことばの相談 nakano)

#### SY3-2 オンライン吃音相談の可能性

矢田 康人 (合同会社 Word Pecker)

#### SY3-3 アナウンサーが ST となり、吃音支援に応用できること

木山 幸子 (言語聴覚士による相談室 ことばのトビラ)

#### SY3-4 ソーシャルワークのできる言語聴覚士

相本 ゆかり (株式会社 Mable)

## シンポジウム 4

8月24日(日) 10:30~11:20 大ホール

### セラピストが学ぶべき親の行動力

座長：徳本 郁恵 (北九州市立障害福祉センター)

斉藤 裕恵 (一枝クリニック)

#### SY4-1 人との出会いに支えられてきた「きつおん親子カフェ」

戸田 祐子 (広島市言語・難聴児育英会、きつおん親子カフェ)

#### SY4-2 親が行う吃音啓発の実践と制度化への道のり

吉田 政美 (きつおん親子の会)

#### SY4-3 「吃音について知ってもらいたい！」

大学で地域向け講座を活用した吃音講演会の継続

吉田 恵理子 (長崎県立大学)

## シンポジウム 5

8月24日(日) 13:00~13:50 大ホール

### リッカムプログラム最前線

座長：原 由紀 (北里大学 医療衛生学部)

- SY5-1** リッカムプログラム研修の実際  
根津 泰子 (埼玉県立小児医療センター)
- SY5-2** リッカムプログラムの実践報告 ~週1回の指導の実現へ~  
瀧元 美和 (田中美郷教育研究所 吃音ケア部門)
- SY5-3** 対面とオンラインにおけるリッカムプログラム実施の比較と展望  
坂崎 弘幸 (目白大学)

## シンポジウム 6

8月24日(日) 14:00~15:20 大ホール

### 苦手な電話に向き合う

座長：阪本 浩一 (大阪公立大学大学院 聴覚言語情報機能病態学、  
医誠会 国際総合病院 イヤーセンター)

菊池 良和 (九州大学病院 耳鼻咽喉・頭頸部外科)

- SY6-1** なぜ、吃音者は電話に対して苦手感を持つのか  
森田 紘生 (医療法人はかたみち はかたみち耳鼻咽喉科)
- SY6-2** 電話が苦手な吃音のある人への発話訓練  
(発話技法を用いた電話対応のロールプレイ)  
吉澤 健太郎 (北里大学病院 リハビリテーション部)
- SY6-3** 電話が苦手な吃音のある人への認知行動療法  
北條 具仁 (国立障害者リハビリテーションセンター病院)
- SY6-4** 電話で感じてきた気持ち  
~電話リレーサービスを利用して変わったこと~  
谷本 樹子 (きつおん親子カフェ・広島)

## 臨床セミナー

8月23日(土) 9:00~9:25 大ホール

---

### 吃音 VR

---

座長：齊藤 裕恵 (一枝クリニック)

**CS-1** 8年間に及ぶ、吃音とVRの研究開発を通じて見えてきた  
VRが切り拓く吃音臨床、吃音改善の新たな未来と可能性について  
梅津 円 (株式会社 DomoLens)

**CS-2** 吃音VRを臨床場面で使用した経験  
北村 匠 (医療法人はかたみち はかたみち耳鼻咽喉科)

## ハンズオンセミナー1

【要申込】 8月23日(土) 9:00~9:50 中ホール2

---

座長：中 茉莉也 (一枝クリニック)

**HS-1** 臨床経験5年以下の集まり  
佐藤 あおい (九州大学病院 耳鼻咽喉・頭頸部外科)

## ハンズオンセミナー2

【要申込】 8月23日(土) 10:00~10:50 中ホール2

---

座長：佐藤 あおい (九州大学病院 耳鼻咽喉・頭頸部外科)

**HS-2** RESTART DCM 入門  
矢田 康人 (合同会社 Word Pecker)

## ハンズオンセミナー3

【要申込】 8月23日(土) 10:00~10:50 中ホール3

---

座長：齊藤 圭祐 (香川言友会、全国言友会連絡協議会)

**HS-3** 吃音カミングアウトの教科書をつくろう！！  
～勇気の1歩を踏みだせるように～  
加賀 勇輝 (医療法人社団高邦会 福岡山王病院)

**ハンズオンセミナー4** 【要申込】 8月23日(土) 11:00~11:50 中ホール2

---

座長：竹山 孝明 (医療法人星樹会 はち歯科医院)

**HS-4 私のセラピー道具紹介**

森田 紘生 (医療法人はかたみち はかたみち耳鼻咽喉科)

**ハンズオンセミナー5** 【要申込】 8月23日(土) 11:00~11:50 中ホール3

---

座長：前新 直志 (国際医療福祉大学 言語聴覚学科)

**HS-5 学会発表に必須の吃音検査法**

北村 匠 (医療法人はかたみち はかたみち耳鼻咽喉科)

**ハンズオンセミナー6** 【要申込】 8月23日(土) 14:30~15:20 中ホール2

---

座長：森田 紘生 (医療法人はかたみち はかたみち耳鼻咽喉科)

**HS-6 健診から紹介された吃音児への対応**

竹山 孝明 (医療法人星樹会 はち歯科医院)

**ハンズオンセミナー7** 【要申込】 8月23日(土) 14:30~15:20 中ホール3

---

座長：山口 優実 (九州大学病院 耳鼻咽喉・頭頸部外科)

**HS-7 吃音・流暢性障害に関する研究・調査活動をはじめよう！**

前新 直志 (国際医療福祉大学言語聴覚学科)

**ハンズオンセミナー8** 【要申込】 8月23日(土) 15:30~16:20 中ホール3

---

座長：坂崎 弘幸 (目白大学 保健医療学部)

**HS-8 吃音の論文を効率よく調べる方法**

飯村 大智 (筑波大学 人間系)

**ハンズオンセミナー9** 【要申込】 8月24日(日) 10:00~10:50 中ホール1

---

座長：石田 修 (茨城大学 教育学分野)

**HS-9** ことばの教室での吃音指導 ~教育としての吃音臨床~

澤口 陽彦 (福山市立 伊勢丘小学校)

**ハンズオンセミナー10** 【要申込】 8月24日(日) 11:00~11:50 中ホール1

---

座長：澤口 陽彦 (福山市立 伊勢丘小学校)

**HS-10** ことばの教室のグループ学習

石田 修 (茨城大学 教育学分野)

**ハンズオンセミナー11** 【要申込】 8月24日(日) 14:00~14:50 中ホール3

---

座長：岡部 健一 (旭川荘南愛媛病院)

**HS-11** 診断書・意見書の書き方

富里 周太 (慶應義塾大学医学部耳鼻咽喉科頭頸部外科学教室、  
全国言友会連絡協議会、よこはま言友会)

**ハンズオンセミナー12** 【要申込】 8月24日(日) 15:00~15:50 中ホール3

---

座長：見上 昌睦 (福岡教育大学 教育学部 特別支援教育研究ユニット)

**HS-12** むいぐるみを用いた吃音のある幼小児のセラピー

仲野 里香 (ことばの相談 nakano)

見上 昌睦 (福岡教育大学 教育学部 特別支援教育研究ユニット)



## 女性の集い

【要申込当日参加も可】

8月23日(土) 15:00~15:50 中ホール1

### ～臨床家と保護者のための理解促進セッション～

NPO 法人全国言友会連絡協議会 地域活動推進本部吃音のある女性取り組みチーム

コーディネーター：丸岡 美穂 (香川言友会)

安井 美鈴 (大阪人間科学大学 保健医療学部言語聴覚学科)

松本 正美 (千葉言友会、吃音のある子どもと歩む会)

矢野 亜紀子 (大分言友会、大分県立看護科学大学)

千葉 秀美 (千葉言友会)

曾我 くるみ (名古屋言友会)

## 言友会企画1

8月24日(日) 9:00~9:50 中ホール2

### ～マイメッセージ～

座長：加藤 拓也 (福岡言友会)

#### 「吃音症だから得られること」

西 隼ノ丞 (西九州大学 作業療法学科 1年)

#### 「社会人経験を経て、言語聴覚士を目指す理由」

宮木 勝也 (麻生リハビリテーション大学校 言語聴覚学科 2年)

#### 「教員を目指すこと」

藤本 莉緒 (福岡教育大学 3年)

#### 「人との繋がり」

村石 光琉 (久留米大学 社会福祉学科 4年)

## 言友会企画2

8月24日(日) 10:00~12:00 中ホール2

### ～ワールドカフェ～

#### 「私(あなた)が思う吃音支援」について思いのまま語り合いましょう

座長：立川 英雄 (福岡言友会)

## 子どもたちの集まり

【要申込】 8月24日(日) 13:00~15:00 中ホール1

---

### みんなで吃音について話してみよう！ (小学5年生~中学生まで)

---

座長：山口 優実 (九州大学病院 耳鼻咽喉・頭頸部外科)

佐藤 あおい (九州大学病院 耳鼻咽喉・頭頸部外科)

亀井 直哉 (社会福祉法人 柚の木福祉会 Powerful Kids こども発達センター)

## 保護者・支援者のしゃべり場

【要申込当日参加も可】

8月24日(日) 13:00~14:30 中ホール2

---

### 「癒えない思いありますか？」

---

座長：仲野 里香 (ことばの相談 nakano)

## 一般演題

---

### 口頭発表1 基礎1

8月23日(土) 9:00~10:00 中ホール1

座長：森 浩一 (国立障害者リハビリテーションセンター)

見上 昌睦 (福岡教育大学 教育学部)

#### O1-1 コンパッションを高めるトレーニングにより変化する脳内機能的ネットワーク結合の検討

藤井 哲之進<sup>1)</sup>, 青木 瑞樹<sup>2)3)</sup>, 豊村 暁<sup>4)</sup>, 宮本 昌子<sup>5)</sup>, 飯村 大智<sup>5)</sup>, 横澤 宏一<sup>6)</sup>

1) 小樽商科大学 グローカル戦略推進センター 2) 筑波大学大学院 人間総合科学研究群

3) 日本学術振興会 4) 群馬大学大学院 保健学研究科

5) 筑波大学 人間系 6) 北海道大学大学院 保健科学研究院

#### O1-2 非流暢性発話障害(吃音とクラタリング)のfMRI解析

鳥羽 海正, 富里 周太

慶應義塾大学 医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室

#### O1-3 成人のクラタリング話者に特徴的な発話非流暢性は何か：吃音および定型話者との比較

飯村 大智<sup>1)</sup>, 石田 修<sup>2)</sup>, 富里 周太<sup>3)</sup>, 飯村 知久<sup>4)5)</sup>, 岩船 傑<sup>4)6)</sup>, 佐藤 悠斗<sup>4)</sup>

1) 筑波大学 人間系 2) 茨城大学 教育学部

3) 慶應義塾大学 医学部 耳鼻咽喉科頭頸部外科学教室

4) 筑波大学大学院 人間総合科学学術院 人間総合科学研究群

5) 医療法人社団志友会 くすのき歯科医院 6) 筑波記念病院 リハビリテーション部

#### O1-4 吃音の有無による脳の運動ループに含まれる領域の興奮と抑制のバランスの比較

錦戸 信和<sup>1)2)</sup>, 河内山 隆紀<sup>2)</sup>, 安井 美鈴<sup>3)</sup>

1) 国際電気通信基礎技術研究所 2) ATR-Promotions 3) 大阪人間科学大学

#### O1-5 発達性吃音の持続に関わる要因について -ワーキングメモリに着目して-

大久保 花音, 原 由紀

北里大学大学院 医療系研究科

#### O1-6 リモート会議の形式が吃音のある人に与える影響の検討

藤森 遼太郎<sup>1)</sup>, 吉川 雄一郎<sup>2)</sup>, 熊崎 博一<sup>3)</sup>, 小林 宏明<sup>4)</sup>

1) 株式会社 TKC 2) 大阪大学大学院基礎工学研究科

3) 長崎大学医歯薬学総合研究科 4) 金沢大学人間社会研究域学校教育系

## 口頭発表 2 当事者

8月23日(土) 9:00~10:00 中ホール 3

座長：久保 健彦 (久保ことばの教室)

脇 豊明 (NPO 法人 Hahato・co)

### O2-1 吃音を「しゃっくり」と認識していた幼児の行動変容

亀井 直哉<sup>1)</sup>, 山口 優実<sup>2)</sup>

1) 社会福祉法人柚の木福祉会 Powerful Kids こども発達センター

2) 九州大学病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科

### O2-2 吃音のある中高生が自身の吃音開示に至る過程及び学校場面での吃音支援との関連 –M-GTA を用いた質的研究–

山元 幹大<sup>1)</sup>, 小林 宏明<sup>2)</sup>

1) 金沢大学大学院 人間社会環境研究科

2) 金沢大学 人間社会研究域学校教育系

### O2-3 吃音のある看護師交流会の取り組み

伊神 敬人<sup>1)2)</sup>, 矢野 亜紀子<sup>3)</sup>

1) みどりの風南知多病院

2) 吃音のある看護師交流会

3) 大分県立看護科学大学

### O2-4 「自己アピールができない」吃音者への就労支援 —精神科臨床の一例を通して—

細萱 理花

木更津病院 精神科

### O2-5 吃音があっても看護師として働いています

伊神 敬人<sup>1)2)</sup>

1) みどりの風南知多病院

2) 吃音のある看護師交流会

## 口頭発表 3 心理

8月23日(土) 10:00~11:00 中ホール1

座長：辰巳 寛 (愛知学院大学 健康科学部)

谷 哲夫 (聖隷クリストファー大学 リハビリテーション学部言語聴覚学科)

### O3-1 成人吃音者の社会的場面における心理状態の評価指標の検討

荒城 新菜<sup>1)</sup>, 小林 宏明<sup>2)</sup>

1) 金沢大学大学院 人間社会環境研究科

2) 金沢大学 人間社会研究域学校教育系

### O3-2 吃音者の過去の体験が認知・行動面に及ぼす影響について

和仁 陽香

梅花女子大学院 現代人間学研究科 心理臨床専攻

### O3-3 吃音の気づきから生活上の支障に関するテキストマイニングを用いた分析

谷 哲夫

聖隷クリストファー大学 リハビリテーション学部言語聴覚学科

### O3-4 成人吃音者の自己受容・スティグマが QOL に与える影響の検討

青木 瑞樹<sup>1)2)</sup>, 飯村 大智<sup>3)</sup>, 宮本 昌子<sup>3)</sup>

1) 筑波大学大学院 人間総合科学研究群

2) 日本学術振興会

3) 筑波大学 人間系

### O3-5 ACT を活用した吃音改善の可能性

寄尾 博孝<sup>1)2)</sup>

1) だつきつだ

2) 広島言友会

### O3-6 吃音のある 10~30 代を主な対象とした セルフヘルプグループ「うーすた関西」による青年期の支援

渡谷 淳平, 角谷 祐実

うーすた関西

## 口頭発表 4 啓発

8月23日(土) 11:00~12:00 中ホール1

座長：坂崎 弘幸 (目白大学)

相本 ゆかり (株式会社 Mable)

### O4-1 医療系大学看護学科学生に対する「吃音・流暢性障害について」の授業実践

豊吉 泰典<sup>1)</sup>, 田中 将省<sup>2)</sup>, 亀田 芙蓉<sup>1)</sup>

1) 日本医療科学大学 看護学科 2) 鳥取城北高等学校

### O4-2 短時間の吃音理解授業が吃音児のコミュニケーション態度に与えた影響： 症例研究

高橋 三郎<sup>1)2)</sup>, 飯村 大智<sup>3)</sup>

1) 府中市立住吉小学校 2) 東京学芸大学 3) 筑波大学 人間系

### O4-3 吃音支援の理解を広げるために、一言語聴覚士が院内で取り組んできたこと

川本 一美

医療法人徳洲会 宇治徳洲会病院 リハビリテーション科

### O4-4 セルフヘルプグループと行政が連携した吃音啓発の取り組み

斉藤 圭祐<sup>1)2)</sup>

1) 香川言友会 2) 全国言友会連絡協議会

### O4-5 近代以前の日本社会における吃音観の歴史的変遷 —古典資料にみる多様な意味づけ

山田 舜也<sup>1)2)3)4)</sup>

1) 東京大学先端科学技術研究センター 2) 東大スタタリング 3) 東京言友会  
4) 日本吃音臨床研究会購読会員

### O4-6 吃音者の印象形成や吃音理解に効果的な自己開示内容の検討

西澤 紗耶, 原 由紀

北里大学大学院 医療系研究科

## 口頭発表 5 支援体制

8月23日(土) 14:00~15:00 中ホール1

座長：原 由紀 (北里大学 医療衛生学部)

瀧元 美和 (田中美郷教育研究所 吃音ケア部門)

### O5-1 親が感じる子どもの吃音の程度と心理状態の検討

佐藤 あおい, 菊池 良和, 山口 優実, 中川 尚志

九州大学病院 耳鼻咽喉・頭頸部外科

### O5-2 児童発達神経症における吃音に対する医療と療育での多職種連携活動について

千田 瑞希

医療法人社団 ユニメディコ

### O5-3 京都府北部における発達性吃音症の現状と課題

浅瀬 詩織, 前田裕史

京都府立舞鶴こども療育センター

### O5-4 吃音支援に関する包括的支援体制の構築 ～経過報告～

花房 伸子, 中西 大介

三重県立子ども心身発達医療センター

### O5-5 北海道の言語聴覚士における吃音臨床の実態調査

上山 智美<sup>1)</sup>, 橋本 竜作<sup>1)2)</sup>, 若松 千裕<sup>1)2)</sup>, 小林 健史<sup>1)2)</sup>, 辻村 礼央奈<sup>1)2)</sup>,  
才川 悦子<sup>1)2)</sup>

1) 北海道医療大学病院

2) 北海道医療大学 リハビリテーション科学部言語聴覚療法学科

### O5-6 当院耳鼻咽喉科における吃音外来の新規開設と診療状況の報告

市山 晴代, 久保田 功, 山本有 希, 樽井 美月, 河村光紀, 阪本 浩一

医誠会 国際総合病院

## 口頭発表 6 基礎 2

8月24日(日) 9:00~10:00 中ホール1

座長：富里 周太 (慶應義塾大学 医学部耳鼻咽喉科頭頸部外科学教室)

川合 紀宗 (広島大学大学院 人間社会科学研究科)

### O6-1 吃音者における自己音声が決外的音声の識別に与える影響

藤田 陽生<sup>1)</sup>, 前新 直志<sup>2)</sup>

1) 国際医療福祉大学 塩谷病院 2) 国際医療福祉大学 言語聴覚学科

### O6-2 吃音検出機械学習モデルの試作と英語吃音データセットを用いた精度評価

宮原 紘造, 加藤 恒夫, 田村 晃裕

同志社大学大学院 理工学研究科

### O6-3 吃音と家族歴に関する疫学的研究：スコーピングレビューによる検討

佐藤 悠斗<sup>1)</sup>, 青木 瑞樹<sup>1)2)</sup>, 宮本 昌子<sup>3)</sup>, 飯村 大智<sup>3)</sup>

1) 筑波大学大学院 人間総合科学学術院 2) 日本学術振興会 3) 筑波大学 人間総系

### O6-4 国内における青年及び成人の吃音に対する治療法・アウトカムの調査： システムティックレビューによる検討

飯村 知久<sup>1)2)</sup>, 岩船 傑<sup>1)3)</sup>, 南 陽菜<sup>4)</sup>, 佐藤 悠斗<sup>1)</sup>, 飯村 大智<sup>5)</sup>

1) 筑波大学大学院 人間総合科学学術院 人間総合科学研究群  
2) 医療法人社団同志友会 くすのき歯科医院 3) 筑波記念病院 リハビリテーション部  
4) 筑波大学 人間学群障害科学類 5) 筑波大学 人間系

### O6-5 国内における吃音のある幼児に対する治療介入の動向： システムティックレビューによる検討

岩船 傑<sup>1)2)</sup>, 佐藤 悠斗<sup>1)</sup>, 飯村 知久<sup>1)3)</sup>, 飯村 大智<sup>4)</sup>

1) 筑波大学大学院 人間総合科学学術院 人間総合科学研究群  
2) 筑波記念病院 リハビリテーション部 3) 医療法人社団同志友会 くすのき歯科医院  
4) 筑波大学 人間系



## 口頭発表 7 臨床

8月24日(日) 13:00~14:00 中ホール3

座長：安井 美鈴 (大阪人間科学大学 保健医療学部言語聴覚学科)

久保 健彦 (久保ことばの教室)

### O7-1 吃音症に対する新しい流暢性形成法(T-SIM)の開発(1)－A pilot study－ －思春期2症例に対する臨床効果－

日比野 英子<sup>1)</sup>, 羽佐田 竜二<sup>1)2)</sup>, 辰巳 寛<sup>3)</sup>

1) 特定非営利活動法人 つばさ吃音相談室      2) 医療法人 赫和会杉石病院

3) 愛知学院大学 健康科学部

### O7-2 吃音症に対する新しい流暢性形成法(T-SIM)の開発(2)－A pilot study－ －成人期2症例に対する臨床効果－

羽佐田 竜二<sup>1)</sup>, 日比野 英子<sup>1)</sup>, 辰巳 寛<sup>2)</sup>, 吉澤 健太郎<sup>3)</sup>

1) 特定非営利活動法人 つばさ吃音相談室      2) 愛知学院大学 健康科学部

3) 北里大学病院 リハビリテーション部

### O7-3 吃音当事者学生の言語聴覚外部臨床実習場面における代替手段としての 自己合成音声使用の有用性について

安井 美鈴<sup>1)</sup>, 滝口 哲也<sup>2)</sup>, 鳥居 かほり<sup>3)</sup>, 阪本 浩一<sup>4)</sup>

1) 大阪人間科学大学 保健医療学部言語聴覚学科      2) 神戸大学大学院 システム情報学研究科

3) 前大阪人間科学大学      4) 大阪公立大学大学院 聴覚言語情報機能病態学

### O7-4 発達特性のある吃音・早口言語症に対して特性を考慮した介入の経過

川口 愛, 薬王 初, 小林 啓晋

社会医療法人スミヤ 角谷リハビリテーション病院

### O7-5 学齢期の吃音児における音読へのアプローチの効果

宗像 恋

湘南藤沢徳洲会病院

### O7-6 自然で無意識な発話への遡及的アプローチ(RASS)で進展段階第2～3層 で終了した場合の転帰について

久保 健彦

久保ことばの教室

## ポスター発表 1

8月23日(土) 13:50~14:30 交流ロビー

座長：餅田 亜希子 (東御市民病院 リハビリテーション科)

吉澤 健太郎 (北里大学病院 リハビリテーション部)

### P1-1 言語聴覚士および吃音当事者が運営する中高生対象の自助グループ 北海道言友会札幌中高生会の活動報告

尾野 美奈<sup>1)</sup>, 高橋 諒<sup>2)3)</sup>, 松本 春菜<sup>3)</sup>

1) コエノバ 2) 学校法人西野学園 札幌医学技術福祉歯科専門学校 3) 北海道言友会

### P1-2 大阪人間科学大学における吃音者セルフヘルプグループの実践とその効果について

松尾 崇寛<sup>1)</sup>, 日上 耕司<sup>2)</sup>, 安井 美鈴<sup>2)</sup>

1) 大阪人間科学大学大学院 人間科学研究科 2) 大阪人間科学大学

### P1-3 ふたりから始まる道南吃音カフェ～継続への道～

小林 文代<sup>1)</sup>, 長内 美喜<sup>2)</sup>, 水谷 さやか<sup>3)</sup>

1) 地域支援ユニバーサルコミュニケーション 2) ゆうあい会石川診療所  
3) 函館市立日吉が丘小学校通級指導教室

### P1-4 吃音者への就労支援について

高木 啓太, 知名 青子

障害者職業総合センター

### P1-5 青年期吃音者の母親が吃音に対して抱く心理・行動変化のプロセス

吉田 恵理子<sup>1)</sup>, 永峯 卓哉<sup>1)</sup>, 菊池 良和<sup>2)</sup>

1) 長崎県立大学看護栄養学部看護学科 2) 九州大学病院耳鼻咽喉・頭頸部外科

### P1-6 吃音のことを歌い伝えた10年間の軌跡と意義 —音楽活動を通じた地域での吃音啓発活動が教えてくれたこと—

越賀 美穂<sup>1)2)</sup>, 金光 聖隆<sup>1)3)</sup>

1) おおさか結言友会 2) すたっと京都 3) 兵庫県立丹波医療センター

座長：塩見 将志 (川崎医療福祉大学)

高橋 三郎 (府中市立住吉小学校 きこえとことばの教室)

**P2-1 吃音悪化に伴ううつ病増悪で離職した成人女性の一例  
～職場復帰支援と ST 介入の経過～**

長谷部 雅康<sup>1)</sup>, 吉澤 健太郎<sup>1)</sup>, 福田 倫也<sup>1)2)</sup>, 雪本 由美<sup>1)</sup>

1) 学校法人北里研究所 北里大学病院 リハビリテーション部

2) 学校法人北里研究所 北里大学 医療衛生学部

**P2-2 対人緊張のある吃音幼児に対する取り組みの 1 例**

小野寺 宰<sup>1)</sup>, 前新 直志<sup>2)</sup>

1) 四天王寺悲田院児童発達支援センター

2) 国際医療福祉大学

**P2-3 吃音の理解教育への NHK for School の活用**

見上 昌睦

福岡教育大学教育学部

**P2-4 リズム発話法における BPM 毎の吃音発症箇所・拍音同時発生率の一般化と  
社会応用検討**

影山 邑汰

筑波大学 情報学群知識情報図書館学類

**P2-5 発声ピッチの自発変動と変形聴覚フィードバックに対する補償応答の関係  
：吃音の有無による違い**

橘 亮輔<sup>1)</sup>, 飯村 大智<sup>2)</sup>

1) 産業技術総合研究所

2) 筑波大学

**P2-6 成人吃音者における語頭/語末バイモーラ頻度の影響分析**

日下 紘

京都工芸繊維大学

## WEB ポスター・動画発表

---

### W-1 青年期の吃音者における両親の支援の現状と期待

永峯 卓哉<sup>1)</sup>, 吉田 恵理子<sup>1)</sup>, 菊池 良和<sup>2)</sup>

1) 長崎県立大学 看護栄養学部看護学科      2) 九州大学病院 耳鼻咽喉・頭頸部外科

### W-2 成人吃音外来を訪れた患者の心理学的プロフィールについて MMPI からわかること

金 樹英<sup>1)</sup>, 北條 具仁<sup>1)</sup>, 酒井 奈緒美<sup>2)</sup>, 坂田 善政<sup>3)</sup>, 森 浩一<sup>2)</sup>

1) 国立障害者リハビリテーションセンター病院

2) 国立障害者リハビリテーションセンター研究所

3) 国立障害者リハビリテーションセンター学院

### W-3 言語聴覚士との対話を通して、吃音の心理的負担が軽減した学童

平松 哲至

はやしま小児科

### W-4 リッカムプログラム(LP)の安全性に関する調査の試み

浅岡 久子

医療法人社団佳正会 やまだこどもクリニック

### W-5 身体的及び機能的な要因による吃音や滑舌不良に対する、声楽家としての体感覚アプローチからの考察

立林 淳

VAC メソッド音楽院

### W-6 コミュニケーション手段としての手話から就労・資格取得に係る『合理的配慮』を考える

清水 雅人

フリーランス (手話通訳士)